

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山本雅代
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	4295 教育相談事業											
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
<b>施 策</b>	12010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	<b>事業</b>	060000 教育相談事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについての問題解消に努める。						小学校に入学後、個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、5歳児すこやか相談事業から小学校へ引き継ぐとともに教育相談員の巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援を実施する。 スクールカウンセラーや心の教室相談等を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
教育相談員の小学校巡回、スクールカウンセラー及び心の教室相談員による相談等を実施し、児童・生徒の心の安定を図ることができた。	教育相談員、スクールカウンセラー、心の教室相談員を配置し、児童・生徒の悩みについて、問題解消に努める。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		5,984	6,954
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	17
	地方債	0	0
	その他	7,932	9
一般財源		△1,948	6,928
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	696.8	696.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	335.6	335.6
	計	1,032.4	1,032.4
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,016.4	7,986.4

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	3,381	スクールカウンセラー謝礼 学校問題解決支援チーム会議委員謝礼
10節 需用費	280	発送検査用紙の購入 消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,323	教育相談員賃金、電話使用料 旅費 ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4,046	スクールカウンセラー謝礼 学校問題解決支援チーム会議委員謝礼
10節 需用費	277	発送検査用紙の購入 消耗品費
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,631	教育相談員賃金、電話使用料 旅費 ほか

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談員が小学校を巡回し、幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添った継続支援を行う。</li> <li>スクールカウンセラーや心の相談員を配置し、児童・生徒の心の安定を図る。</li> </ul>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼・保・小の連携した継続支援を行う。</li> <li>多くの児童生徒に対し、スクールカウンセラーや心の相談員が、悩みに共感したり、助言を行っている。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	<p>スクールカウンセラーの他、家庭支援の必要なケースについては、県に派遣を依頼したスクールソーシャルワーカーにつなげるなど、関係機関と連携した支援を行っている。</p>	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

心の相談員は、中学校の図書室に配置され、生徒が気軽に相談することができた。またスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーが学校と連携し、家庭への支援を含めた必要な支援を行い、児童生徒の心の安定を図ることができた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>スクールソーシャルワーカーの配置など、相談体制の充実により要支援児童・生徒、保護者に適切な助言等が行えている</p>		<p>相談体制の充実により一人一人に寄り添った支援が行えている。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	